

つくば市教育委員会 指導主事 毛利靖

実証実験に対する意見

- ・東日本の実証実験では、先生がインタラクティブホワイトボードを使って教えるという一斉授業のスタイルだけでなく、児童が主体的な活動に利用する事例が多く見られ、現在の日本中で行われているさまざまな授業スタイルに対応した使い方になっているのではないかと考える。
- ・社会での消防署見学にタブレットPCをもって取材する授業スタイルや体育での活用は、学校での活用の幅を広げたり、児童の問題解決学習に非常に有効ではないかと考える。
- ・授業スタイルでは、一斉授業の他、グループ学習、個別学習などさまざまな授業スタイルが報告されており、これから使おうとしている自治体や学校に対して非常に魅力あるものとして提示できるのではないかと考える。システムの構築と同じくらい大切なものとしてリーフレットなど作成してはどうか。
- ・東日本の実証実験を系統的にしたような、つくば市の例を載せておきます。

児童生徒の協働学習を支援するICT教育



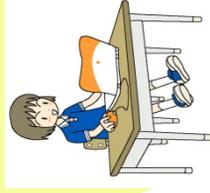
体験的活動(デジタルメディアPDAで情報収集)



スタディノートでまとめたり
比較検討する
【思考力cognition】



掲示板で他校との
交流, 博物館との
連携【協働学習
community】



つくばオンラインスタディやデジタルコンテンツでの学習【学習内容content】



電子黒板やテレビ会議での話し合い【言語力communication】